



王喜の郷の輪 第32回

ケアハウス王喜の郷入居者へのインタビュー

5月22日にバスハイクで北九州の白野江植物公園へ行ってきました。曇り空でしたが、初夏の風が心地よく、鉢植えのバラがとてもきれいでした。今回初めてバスハイクに参加されたM様とN様に感想をいただきました。(介護職員 中村ひふみ)



(M.M様)

王喜の郷に入居しまして1年5ヶ月になります。少し様子がわかるようになりました。丁度バスハイクの申し込みがありましたので申し込みました。皆さんと初めて行くのには不安がありましたが、とても楽しかったです。ルピナスの花の大きさにびっくりしました。バラがアーチになっており少し香りがしました。さるすべりの木や紅葉の木がのびのびして葉っぱも可愛く、心がウキウキしました。見ごたえもありました。又このような機会がありましたら参加したいなと思いました。どうもありがとうございました。楽しい一日でした。

(M.N様)

白野江公園は全山ミドリを装って出迎えてくれました。楓の巨木が前夜の雨で鮮やかな青もみじに生誕し、肩先まで枝を伸ばしてきます。歩道に沿って植え込まれたミドリのトンネルを抜けるとメイン会場の広場に着きました。咲きほころびるバラを背に一同整列、記念撮影です。アーチに仕立てられたバラの下でハイチーズ。豊前海から吹き来る風は心地いい冷たさで、暑い5月を送った身体には甘露です。バラを満喫したらコーヒータイム。パウンドケーキがたっぷり、コーヒーをおかわりして頂きました。お花畑でのケーキの味は格別でした。おなか満腹、五体リフレッシュができて帰路につきます。引率の山野さん、中村さん、お世話アリガトウ。



たんぽぽ通信

6月1日発行 232号
ケアハウス王喜の郷 令和8年6月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

巻頭言

ケアハウスの周りも緑におおわれて、キウイ、ブドウやブルーベリーは小さな実をつけています。茗荷がつんと伸びています。ビワが黄色くなり始めています。もうじき皆様の食卓に登場します。空を見上げると、燕が低空飛行をしています。田植えももうすぐです。

皆様おなじみのひよこが50羽、生まれた翌日の5月26日、浮羽町からやってきました。前回は令和5年5月にやはり50羽やってきました。そのうちの25羽が現在残っています。産卵が少なくなり、年内に新顔の産卵が始まればいいかと考えています。毎日世話をしてくれているのは3人の職員です。成鶏の餌は食事の残菜、ぬか、配合飼料、雑草、貝殻もやります。ケアハウスの片隅の小屋と小さな運動場に放し飼いです。ケアハウスの庭いっぱいにして遊ばせてやりたいものです。

さて皆様、いろんなものが生き生きとした営みをしている庭にちょっと出てみられませんか？施設長 末谷千

厨房では週に一度手作りデザートを提供しています。

6月のデザート

- ① チョ イヌ (ベトナム餅ぜんざい＝緑豆使用)
- ② びわのゼリー
- ③ くず餅(抹茶)
- ④ バナナケーキ どうぞお楽しみに！

K.Y様 K.U様
K.K様 入居されました。

6月のバスハイクは常盤ミュージアム
を予定しています。(宇部)
是非、ご参加下さい！

6月17日(水)14:00～16:00 胸部レントゲン検診を行います。

対象:ケアハウス入居者の方(65歳以上、令和7年12月31日までにご入居の方)
場所:ケアハウス玄関(レントゲン撮影車にて)
年に1回の結核の定期健康診断です。職員が指示させていただきます。ご協力をお願いいたします。



ご報告

日本財団福祉車両整備事業の助成を受けた

デイサービスの送迎車(福祉車両)が3月27日に届きました。

車いす対応の最新の軽自動車です。

車両の装備が驚くほど様々なところになされ安全性が考えられています。

利用者の皆さんの送迎に活用させていただきます。



6月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 芒種
7 Y.H様 誕生日	8	9	10	11 入梅	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 夏至 父の日	22	23	24 K.H様 R.T様 誕生日	25	26	27
28	29 ビューティヘルパー T.M様 誕生日	30				

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に「料金表」と「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

<p>ケアハウス王喜の郷 皆さん、こんにちは！ 4月から厨房で栄養士として入社しました 田中愛望(たなかまなみ)です。覚える事が多く、まだまだ未熟ですがよろしくお願ひします。明るく声をかけてくださる方々がたくさんいらっしゃり、毎日頑張る事が出来ています！自己紹介として私の趣味は音楽を聴くことです。最近よく聴いているアーティストは「バンプ オブ チキン」です。通勤時間、片道30分かかるので毎日聴いています。元気が出る曲が多いのでぜひ聴いてほしいです。よろしくお願ひします。</p>  <p>栄養士 田中愛望</p>	<p>王喜の郷デイサービスセンター 6月は梅雨の時季に入り、湿度も上がってきます。デイサービスではエアコンをつけますが、利用者さんによって温度の感じ方が違いますので、上に羽織るものを持参していただいたり、席替えして、ひとりひとりが快適に過ごして頂ける様に都度、声掛けを行っています。現在、中庭が整備され散歩コースが出来ています。昼食後、外気浴として太陽を浴びられたり、木陰で休まれお茶を飲まれながらお話されるなど、爽やかな風に吹かれ、穏やかな時間を満喫されています。また、5月25日の誕生会ではダディ上田様に来ていただき、4名の誕生者の方をお祝いしました。歌やトークを聴かれ、手拍子されたり感極まって涙される方もおられ、皆さんから楽しい時間だったと言って頂きました。</p>  <p>生活相談員 濱上 由美子</p>	<p>グループホーム王喜の郷ライム 田んぼに水が張られ、夜になると賑やかな蛙の音が聞こえてくる時期になりました。6月になると梅雨がやってきます。梅雨に入ると高温多湿の為、気分もスッキリせず、体調不良になりがちです。その様な時は、体を動かして気分転換をすることが1番です！ライムでは午後のおやつの後に懐かしい曲(懐メロ)に合わせて体操をしています。テレビの画面から知っている曲が流れると自然と笑顔になり、口ずさみながら参加されています。外に出れない梅雨時期こそ体を動かし、元気な体作りに取り組んで行きたいと思っています。</p>  <p>介護職員 杠 真奈美</p>	<p>グループホーム王喜の郷 日中は暖かく過ごしやすい季節になりました。しかし、気温が30度前後になる日もありますので、体調管理には十分気をつけられてください。衣服や寝具の衣替えを行い、過ごしやすい環境に整えていきます。皆さん、ご協力していただきありがとうございます。毎日の日課で、暑くても、麦わら帽子をかぶって散歩は継続しています。「外の空気を吸うと、胸がすーっとする。気持ちがあえねー。」と話をされます。5月19日は誕生日会を行いました。ハーモニカの音色に合わせて、「青い山脈」等、10曲ほど、みんなで合唱し、笑顔で手拍子を取られていました。明るく元気に過ごしていただけるよう、支援して行きたいと思っています。</p>  <p>介護職員 安田 美紗子</p>
<p>王喜の郷居宅介護支援センター 5/23(土)下関市老人福祉施設協議会主催の福祉フェアに参加しました。場所は、ふくふく・こども館(JR 下関駅ビル3階)で、青少年を対象に福祉の魅力を伝える目的で会を開催しました。青少年が来るかどうか不安の中の開催でしたが、想像以上の参加があり、とても楽しい時間を過ごせました。福祉用具の紹介や福祉の仕事の紹介、口腔機能についての説明、栄養に関する事等を体験して頂きました。自分は、飲み込みの悪い方が食べやすい食品を食べてもらうコーナーを担当しました。味や盛り付け等好評で、中には写真を撮る方もいました。コロナにより活動を自粛していた為、今回のような福祉フェアが今後も継続する事で、福祉の仕事に興味を持つ青少年が増える事に繋がるとお願ひしました。</p> <p>介護支援専門員 中西 威</p>	<p>王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか 昨年、近くの小学校に腰塚勇人氏が招かれ「命の授業」の講演がありました。中学教諭をされていた頃、スキーで首の骨を折り、全身麻痺になり、それから奇跡の復活をされたそうです。復活するまでに、色々な方に支えられて思ったことを全国を回って講話されています。誰かを応援する人、誰かのありのままの存在を認め、思いやり、寄り添って生きる人を「ドリー夢メーカー」と呼び、身近な誰かがそんな存在であったり、自分が誰かのそんな存在かもしれません。ヘルパーもご利用者にとってそんな存在になっているのではと思います。週に一回の一時間の訪問の間でも、コミュニケーションをとり笑顔を引き出したり、また来てねという言葉に喜びを感じながら支援していきます。</p> <p>サービス提供責任者 藤成 舞</p>	<p>王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷 先日、周南市鹿野の「里山オープンガーデン」に行きました。個人の庭を一般公開されており、庭園内ではコンサート、バンドやオカリナなどの演奏とともに、鳥のさえずりも参加し、憩いのひとときを過ごしました。食事を提供するお店もあり、町の皆さんで協力して開催されていることを知りました。当日見たり聞いたりした様子をシニアハウスの皆さんに話をするとう「鹿野には行ったことがある」「オカリナってどんなもの？」「自分も花を育てよった」「またどこか行ったら話を聞かせて」などの声が聞かれました。</p>  <p>介護職員 野村 恭子</p>	<p>放課後等デイサービス さくら 先日、さくら農園で育てているグリーンピースとそら豆の収穫を子ども達と一緒にに行きました。農作業に詳しい支援員からどのようにしたら収穫時かを教わりました。グリーンピースはさやの表面がツルツルからしわしわになったら良い、そら豆はさやが下向きになりスジと周りが黒くなってきたら良いとのことでした。子どもたちは真剣に話を聞き、それぞれの豆の変化を観察して「これはしわしわ。とっていい？」「あつ、これいいんじゃない？」「これは豆が上向きだからまだだね」等、話をしながら収穫していました。収穫後はさやから豆を取り出す作業を行いました。そら豆の中にある白いふわふわした部分を手で触り「気持ちいい」と感触を楽しむ子もいました。豆は塩ゆでにしてみんなで食べてみました。「苦手」だと言っていた子も「1粒だけ」と言い、食べる事が出来ました。</p>  <p>さくら支援員 松下 美由紀</p>